

国際スケート連盟コミュニケーション第 1649 号

シングル, ペア, アイス・ダンスおよびシンクロナイズド・スケートティング

国際ノービス競技会についてのガイドライン (ISU コミュニケーション 1288, 1331, 1397, 1528 と置き換える)

A. はじめに

ISU の義務と任務は、その傘下の多くの部門に対して、高いレベルの演技を支援したり、国際イベントを組織したり、そのスポーツの運営のみならず、そうした部門に対する将来性および発展性に関心を持つことにある。

よって ISU はその将来を明るいものにする為に、若手選手向けに多くの支援的かつ建設的な方策で働きかけ、更に革新的な組織を導入することが必要である。今日の ISU が有する恵まれた地位を保つためには、明確な年齢に関する規定とともに、ノービス部門とそのレベルの構成、そして要求事項を支援する必要がある。

異なるノービスのレベル（ベーシック・ノービス、アドバンスト・ノービス）により、主催者は、全競技者向けに彼等のそれぞれの能力とその所持級に応じたイベントを、同じように競える状態で開催できるようになる。エントリー種目は、エントリーしたメンバーの決定に従うべきである。

主催者はイベントに含まれる種目およびサブグループを決定する。スケーター／チームを参加させるメンバー／クラブは、所属選手が参加するサブグループを決定する。

特定の年齢では、ノービス・スケーター／チームがジュニアの競技会／イベントに参加することができたり、あるいはその逆も可能である。

ISU はその専門知識をもってノービスやジュニア・カテゴリーにかかる年齢層を支援することをいとわな。以下の手順と情報に従い、ISU はフィギュア・スケートティング部門の更なる発展を確かにする行動を取る。

本コミュニケーションの目的は、規程第 107 条第 10 項に該当するフィギュア・スケートティング部門の国際ノービス競技会を規定することである。また主催者が規程第 107 条第 14 項に該当するインタークラブ競技会に対しても、本コミュニケーションに含まれる全般的および技術的要求事項を適用することが推奨される。

解釈や疑念などの問題の場合、ISU 評議会が最終決断を下す。

B. 全般

1. 参加申し込み

競技会への参加申し込みは、スケーターの年齢とレベルに基づき（国際競技会については）メンバーにより、（インタークラブ競技会については）地区／クラブによってなされる。地区／クラブはISU加盟メンバーのメンバーでなくてはならない。

2. 年齢要件（規程第108条第2項dおよび第3項新c）

国際ノービス競技会におけるノービス・スケーターとは、競技会に先立つ7月1日までに以下の要件を満たすものをいう（特定の日付：“7月1日まで”は、すべての指定された日付に適用される）：

- －少なくとも10歳に達しており
- －15歳には達していないこと

2つのサブグループが異なるテクニカル・パッケージとして設置される。

- －ベーシック・ノービス
- －アドバンスト・ノービス

さらにシングル・スケートイングにおいては、年齢による2つのサブグループがベーシック・ノービスとして設置される。

ベーシック・ノービス A

- a) 少なくとも10歳に達しており
- b) シングル競技では、男子女子とも13歳に達していないこと

ベーシック・ノービス B

- a) 少なくとも13歳に達しており
- b) 男子女子とも15歳に達していないこと

ペア・スケートイング、アイス・ダンス、シンクロナイズド・スケートイングについては、ベーシック・ノービスにおいて年齢別のサブグループは設置されない。シンクロナイズド・スケートイングでは、ベーシック・ノービスにおいてチームあたりのスケーターの数を明確にするためにサブグループが使用される。

全ての種目において、アドバンスト・ノービスでは年齢によるサブグループは設置されない。

3. 役員

- a) 役員パネルの構成については、役員の実務資格を除きISU規程第337条および第720条が適用される。各イベントでは少なくとも1名のジャッジおよび少なくとも1名のテクニカル・パネルのメンバーは国際資格を有する者で構成しなければならない。
- b) 採点、レフェリー、テクニカル・パネルの役割に関しては、ジュニアおよびシニアの国際競技会と同様のISU規程が適用される。
- c) レフェリー・レポートおよびテクニカル・コントローラー・レポートに関する規定は、規程第420条第1項、第2項、および第816条第1項、第2項が適用される。

C. シングル&ペア・スケーティング

1. シングルおよびペア・スケーティングのノービス競技会における全般的な要求事項

シングルおよびペア・スケーティングのノービス競技会で行なわれる競技部分：

a) シングル・スケーティング競技は以下の構成となる。

- *ベーシック・ノービス（年少）（グループ A） フリー・スケーティングのみ
- *ベーシック・ノービス（年長）（グループ B） フリー・スケーティングのみ
- *アドバンスト・ノービス ショート・プログラムおよびフリー・スケーティング

b) ペア・スケーティング競技は以下の構成となる

- *ベーシック・ノービス（1グループ） フリー・スケーティングのみ
- *アドバンスト・ノービス フリー・スケーティングのみ

c) 演技時間

シングル・スケーティング

ベーシック・ノービス（グループ A）	フリー・スケーティング	2分30秒±10秒
ベーシック・ノービス（グループ B）	フリー・スケーティング	3分±10秒
アドバンスト・ノービス	ショート・プログラム	2分30秒以内
	フリー・スケーティング（女子）	3分±10秒
	フリー・スケーティング（男子）	3分30秒±10秒

ペア・スケーティング

ベーシック・ノービス	フリー・スケーティング	3分±10秒
アドバンスト・ノービス	フリー・スケーティング	3分30秒±10秒

2. ノービス競技会におけるシングル・スケーティングの技術的な要求事項

2.1 シングル・スケーティングのベーシック・ノービス A — 女子および男子（年少）

シングルのベーシック・ノービス A のバランスのとれたプログラムは以下を含まなければならない：

- a) 男女とも最大4つのジャンプ要素。内1つはアクセル型ジャンプでなければならない。ジャンプ・コンビネーションまたはジャンプ・シークェンスは2つまで含んでよい。ジャンプ・コンビネーションは2個のジャンプのみを含むことができる。ジャンプ・シークェンスは構成するジャンプの数は自由であるが、最も難しい2個のジャンプのみがカウントされる。トリプル・ジャンプは許されない。
- b) 最大2つの異なる性質（略記号）のスピンの要素。内1つはスピン・コンビネーションで足換えは任意（総回転数は最小6回転）、1つは単一姿勢のスピンの要素で足換えは任意（総回転数は最小6回転）。
- c)
 - i) 女子は最大1つのステップ・シークェンスあるいは最大2つのスパイラル姿勢を含む最大1つのスパイラル・シークェンスを含まなければならない。シークェンスは固定された基礎点を持ち、GOEでのみ評価される。
 - ii) 男子は最大1つのステップ・シークェンスを含まなければならない。ステップ・シークェンスは固定された基礎点を持ち、GOEでのみ評価される。

プログラム・コンポーネントは

- ・ スケーティング・スキル
- ・ パフォーマンス/エクセキューション

でのみ採点される。プログラム・コンポーネントの係数は2.5である。

レベルについての説明：

シングル・ベーシック・ノービス A では、レベルの対象となる全ての要素は、レベル2までのみ特徴が数えられる。いかなる追加の特徴もレベルの要求事項として数えられず、テクニカル・パネルからは無視される。

2.2 シングル・スケーティングのベーシック・ノービス B — 女子および男子（年長）

シングル・ベーシック・ノービス B のバランスのとれたプログラムは以下を含まなければならない：

- a) 女子は最大5つ、男子は最大6つのジャンプ要素。内1つはアクセル型ジャンプでなければならない。ジャンプ・コンビネーションまたはジャンプ・シークェンスは2つまで含んでよい。ジャンプ・コンビネーションは2個のジャンプのみを含むことができる。ジャンプ・シークェンスは構成するジャンプの数は自由であるが、最も難しい2個のジャンプのみがカウントされる。
2回転半またはそれ以上の回転数のジャンプは、2種類のみをジャンプ・コンビネーションまたはジャンプ・シークェンスの中で繰り返すことができる。
- b) 最大2つの異なる性質（略記号）のスピニング要素。内1つはスピニング・コンビネーションで足換えは任意（総回転数は最小10回転）、1つはフライング・スピニングまたはフライング・エントランス・スピニング（総回転数は最小6回転）でなければならない。
- c)
 - i) 女子は最大1つのステップ・シークェンスあるいは最大2つのスパイラル姿勢を含む最大1つのスパイラル・シークェンスを含まなければならない。シークェンスは固定された基礎点を持ち、GOEでのみ評価される。
 - ii) 男子は最大1つのステップ・シークェンスを含まなければならない。ステップ・シークェンスは固定された基礎点を持ち、GOEでのみ評価される。

プログラム・コンポーネントは

- ・ スケーティング・スキル
- ・ パフォーマンス/エクセキューション
- ・ インタープリテーション

でのみ採点される。プログラム・コンポーネントの係数は以下とする。

— 男子 2.0

— 女子 1.7

レベルについての説明：

シングル・ベーシック・ノービス B では、レベルの対象となる全ての要素は、レベル2までのみ特徴が数えられる。いかなる追加の特徴もレベルの要求事項として数えられず、テクニカル・パネルからは無視される。

2.3 シングル・スケーティングのアドバンスト・ノービス — 女子および男子

男子

シングル男子のショート・プログラムは以下の要素からなる：

- a) アクセル・パウルゼンまたはダブル・アクセル・パウルゼン
- b) コネクティング・ステップから直ちに行なうダブルまたはトリプル・ジャンプ。a)のジャンプの繰り返しは禁止。
- c) 2つのジャンプから構成されるジャンプ・コンビネーションで、2つのダブル・ジャンプあるいは1つのダブル・ジャンプと1つのトリプル・ジャンプからなるもの。構成する両ジャンプとも a)または b)のジャンプの繰り返しは禁止。
- d) 足換えのキャメルまたはシット・スピン（最小6回転）。フライングからの入りは禁止。
- e) 足換え1回のみ、姿勢変更少なくとも1回を含むスピン・コンビネーション（各足とも最小5回転）。
- f) 1つのステップ・シーケンスで氷面を一杯に使ったもの（ストレート・ライン、サーペンタイン、サーキュラー）。

女子

シングル女子のショート・プログラムは以下の要素からなる：

- a) アクセル・パウルゼンまたはダブル・アクセル・パウルゼン
- b) コネクティング・ステップから直ちに行なうダブルまたはトリプル・ジャンプ。a)のジャンプの繰り返しは禁止。
- c) 2つのジャンプから構成されるジャンプ・コンビネーションで、2つのダブル・ジャンプあるいは1つのダブル・ジャンプと1つのトリプル・ジャンプからなるもの。構成する両ジャンプとも a)または b)のジャンプの繰り返しは禁止。
- d) レイバックまたはサイドウェイズ・リーニング・スピン（最小6回転）
- e) 足換え1回のみ、姿勢変更少なくとも1回を含むスピン・コンビネーション（各足とも最小5回転）。
- f) 1つのステップ・シーケンスで氷面を一杯に使ったもの（ストレート・ライン、サーペンタイン、サーキュラー）

男子および女子

シングルのバランスのとれたフリー・スケーティング・プログラムは以下を含まなければならない：

- a) 女子は最大6つ、男子は最大7つのジャンプ要素。内1つはアクセル型ジャンプでなければならない。ジャンプ・コンビネーションまたはジャンプ・シーケンスは2つまで含んでよい。ジャンプ・コンビネーションは2個のジャンプのみを含むことができる。ジャンプ・シーケンスは構成するジャンプの数は自由であるが、最も難しい2つのジャンプのみがカウントされる。
2回転半またはそれ以上の回転数のジャンプは、2種類のみをジャンプ・コンビネーションまたはジャンプ・シーケンスの中で繰り返すことができる。
- b) 最大2つの異なる性質（略記号）のスピン要素。内1つはスピン・コンビネーション（総回転数は最小10回転）、1つはフライング・スピンまたはフライング・エントランス・スピン（総回転数は最小6回転）。
- c) 最大1つのステップ・シーケンス

レベルについての説明：

シングルのアドバンスト・ノービスでは、レベルの対象となる全ての要素は、**レベル3**までのみ特徴が数えられる。いかなる追加の特徴もレベルの要求事項として数えられず、テクニカル・パネルからは無視される。

プログラム・コンポーネントは、

- ・ スケーティング・スキル
- ・ トランジション
- ・ パフォーマンス/エクセキューション
- ・ インタープリテーション

でのみ採点される。

プログラム・コンポーネントの係数は

- a) ショート・プログラム
 - －男子 1.0
 - －女子 1.0
- b) フリー・スケーティング
 - －男子 1.7
 - －女子 1.5

3. ノービス競技会におけるペア・スケーティングの技術的な要求事項

3.1 ペア・スケーティングのベーシック・ノービス

ベーシック・ノービス競技会は、フリー・スケーティング・プログラムのみで構成される。

バランスのとれたフリー・スケーティング・プログラムは最大以下を含まなくてはならない：

- a) グループ1から2のうち異なる種類のリフト2回、片腕ホールドは許可されない（パートナーの支持している腕が完全に伸びることは要求されない）
- b) ルッツ・ツイスト・リフト1回（1回転）
- c) ソロ・ジャンプ1回（1回転または2回転）
- d) ソロ・スピンの足換え無し、姿勢変更は任意（最小5回転）またはペア・スピン（最小5回転）
- e) 任意のピボット・フィギュア* 1回
- f) 最大2つのスパイラル姿勢を伴うスパイラル・シーケンス1回。シーケンスは一定の基礎点が与えられ、GOEでのみ評価される。

*もしデス・スパイラルが行われたならば、ISU技術規程シングル&ペア・スケーティングに従って採点される。デス・スパイラル以外の場合にはレベルがない。

レベルについての説明

ペア・スケーティングのベーシック・ノービスでは、レベルの対象となる全ての要素は、**レベル2**までのみ特徴が数えられる。いかなる追加の特徴もレベルの要求事項として数えられず、テクニカル・パネルからは無視される。

プログラム・コンポーネントは

- ・ スケーティング・スキル
- ・ パフォーマンス/エクセキューション

でのみ採点される。

プログラム・コンポーネントの係数は3.5である。

3.2 ペア・スケーティングのアドバンスト・ノービス

バランスのとれたフリー・スケーティング・プログラムは最大、以下を含まなくてはならない：

- a) グループ 1 から 4 のうち異なる種類のリフト 2 回、片腕ホールドは許可されない（グループ 1 および 2 では、パートナーの支持している腕が完全に伸びることは要求されない）
- b) ルッツ・ツイスト・リフト 1 回（1 回転または 2 回転）
- c) スロウ・ジャンプ 1 回（1 回転または 2 回転）
- d) ソロ・ジャンプ 1 回（1 回転または 2 回転）
- e) ソロ・スピンまたはソロ・スピン・コンビネーション 1 回（全体で最小 5 回転）またはペア・スピンまたはペア・スピン・コンビネーション 1 回（全体で最小 5 回転）
- f) デス・スパイラル 1 回または任意のピボット・フィギュア 1 回*
- g) 少なくとも 2 つのスパイラル姿勢を伴うスパイラル 1 回（一定の基礎点で GOE でのみ評価）
- h) 1 つのステップ・シーケンスで氷面を一杯に使ったもの（ストレート・ライン、サーペンタイン、またはサーキュラー）

*もしデス・スパイラルが行われたならば、ISU 技術規程シングル&ペア・スケーティング 2010 年度版の説明に従って採点される。デス・スパイラル以外の場合にはレベルがない。

レベルについての説明

ペア・スケーティングのアドバンスト・ノービスでは、レベルの対象となる全ての要素は、レベル 3 までのみ特徴が数えられる。いかなる追加の特徴もレベルの要求事項として数えられず、テクニカル・パネルからは無視される。

プログラム・コンポーネントは、

- ・ スケーティング・スキル
- ・ トランジション
- ・ パフォーマンス/エクセキューション
- ・ インタープリテーション

でのみ採点される。

プログラム・コンポーネントの係数は 1.8 である。

D. アイス・ダンス

1. アイス・ダンスのノービス競技会における全般的な要求事項

アイス・ダンスのノービス競技会で行なわれる競技部分

a) アイス・ダンス競技の構成

ベーシック・ノービス	2つのパターン・ダンスおよびフリー・ダンス
アドバンスト・ノービス	2つのパターン・ダンスおよびフリー・ダンス

b) フリー・ダンスの演技時間

ベーシック・ノービス	フリー・ダンス	2分30秒±10秒
アドバンスト・ノービス	フリー・ダンス	3分±10秒

2. アイス・ダンスのベーシック・ノービス競技会における技術的な要求事項

2.1 パターン・ダンス

規程第 639 条第 1 項：国際ノービス競技会のためのパターン・ダンス課題はアイス・ダンス技術委員会から ISU コミュニケーションによって毎年 6 月 1 日以前に発表され、発表の翌年の 7 月 1 日から発効する。

ベーシック・ノービスでは **2つのパターン・ダンスが行なわれる**。2010/2011 シーズンは、

No.1 フォーティーン・ステップ

No.4 ヨーロピアン・ワルツ

パターン・ダンスの SOV（価値尺度）は ISU コミュニケーションにより更新・発行される。

2.2 フリー・ダンス

規程第 610 条が適用されるが、ボーカル音楽は許されない。ボーカル音楽の使用は規程第 653 条第 1 項 n) ii および第 409 条第 1 項に従って音楽の制限に対する違反するとみなされ、減点となる。

音楽および衣装についての要求事項は ISU コミュニケーション第 1610 号および本コミュニケーションの後に更新される ISU コミュニケーションに従う（ただし、ボーカル音楽は許されない）。

バランスのとれたフリー・ダンス・プログラムは以下を含まなくてはならない。

- a) 以下の種類から選ぶ（規程第 604 条 16 項で定義された）**ショート・リフトを 1 つ**
- a) ストレート・ライン・リフト
 - b) カーブ・リフト
 - c) ローテショナル・リフト

加えて、難度レベルを要求されない 1 つの追加のリフト（最長 6 秒）が許可される（ルール違反でないものに限る）。ただし、最初に行われたリフトのみが認定され、難度レベル判定の対象となる。しかしながら、3 つ目のリフトが行なわれた場合には、テクニカル・パネルによって余分な要素としてみなされる。

ステーションナリー・リフトが難度レベルを伴うリフトとして行なわれた場合には、テクニカル・パネルによってリフトのボックスを占めるものとして認定され、無価値となり、余分な要素（ウェル・バランス・プログラムに従わない要素）としてみなされる。

b) **ホールドを組んで行なうグループ A または B のステップ・シーケンスを 1 つ**（規程第 603 条第 3 項により定義されているもの）

ISU コミュニケーション第 1610 号に載っている制限事項および本コミュニケーションの後に更新される ISU コミュニケーションに従う。

c) **シンクロナイズド・ツイズルを 1 つ**（規程 604 条第 14 項 a,b により定義されているもの）

最初に行われたシンクロナイズド・ツイズルのみが認定され、難度のレベルとして考慮される。

ダンス・スピンはベーシック・ノービスのフリー・ダンスの必須要素に含まれていない。ただし、カップルが同じ軸の周りを片足で（もしくは両足で）滑走するようなスピン動作を行うことはホールドと回転数の制限なく許される。カップルはこのような動作を振り付けの一部として用いてよい。テクニカル・パネルはこのような動作は無視し、ジャッジはこのような動作を許されたストップの数には入れないものとする。

レベルについての説明

ベーシック・ノービス・フリー・ダンスにおいて、全ての要素は、**レベル 2**までのみ特徴が数えられる。いかなる追加の特徴もレベルの要求事項として数えられず、テクニカル・パネルからは無視される。

全てのプログラム・コンポーネントは以下の係数で採点される。

スケーティング・スキル	1.10
トランジション／繋ぎのフットワーク／動作	0.90
パフォーマンス／エクスキューション	0.90
構成／振付	0.90
インタープリテーション／タイミング	0.90

3. アイス・ダンスのアドバンスト・ノービス競技会における技術的な要求事項

3.1 パターン・ダンス

規程第 639 条第 1 項：国際ノービス競技会のためのパターン・ダンス課題はアイス・ダンス技術委員会から ISU コミュニケーションによって毎年 6 月 1 日以前に発表され、発表の翌年の 7 月 1 日から発効する。

アドバンスト・ノービスでは**2 つのパターン・ダンス**が行なわれる。2010/2011 シーズンは、競技会の最初の練習の前に、それぞれのグループから 1 課題ずつ抽選される。

グループ 1:	No.5 アメリカン・ワルツ	No.9 スターライト・ワルツ
グループ 2:	No.12 キリアン	No.20 タンゴ

パターン・ダンスの価値尺度(SOV)は更新され、ISU コミュニケーションとして発行される。

3.2 フリー・ダンス

規程第 610 条が適用されるが、ボーカル音楽は許されない。ボーカル音楽の使用は規程第 653 条第 1 項 n) ii および第 409 条第 1 項に従って音楽の制限に対する違反するとみなされ、減点となる。

音楽および衣装についての要求事項は ISU コミュニケーション第 1610 号および本コミュニケーションの後に更新される ISU コミュニケーションに従う（ただし、ボーカル音楽は許されない）。

バランスのとれたフリー・ダンス・プログラムは以下を含まなくてはならない。

a) 以下の種類から選ぶ（規程第 604 条 16 項で定義された）ショート・リフトを 2 つ

- a) ストレート・ライン・リフト
- b) カーブ・リフト
- c) ローショナル・リフト

加えて、難度レベルを要求されない 1 つの追加のリフト（最長 6 秒）が許可される（ルール違反でないものに限る）。ただし、最初に行われたリフトのみが認定され、難度レベル判定の対象となる。しかしながら、4 つ目のリフトが行なわれた場合には、テクニカル・パネルによって余分な要素としてみなされる。

ステーションナリー・リフトが難度レベルを伴うリフトの間に行なわれた場合には、テクニカル・パネルによってリフトのボックスを占めるものとして認定され、無価値となり、余分な要素（ウェル・バランス・プログラムに従わない要素）としてみなされる。

b) (規程第 604 条 14 項 e で定義された) スピンを 1 つ

注釈：コンビネーション・スピンは許されない。スピンの代わりにコンビネーション・スピが行なわれた場合には、テクニカル・パネルによってスピンのボックスを占めるものとして認定され、無価値となり、余分な要素（ウェル・バランス・プログラムに従わない要素）としてみなされる。

c) ホールドを組んで行なうグループ A または B のステップ・シーケンスを 1 つ（規程第 603 条第 3 項により定義されているもの）

ISU コミュニケーション第 1610 号に載っている制限事項および本コミュニケーションの後に更新される ISU コミュニケーションに従う。

d) シンクロナイズド・ツイズルを 1 つ（規程第 604 条 14 項 a, b により定義されているもの）

最初に行われたシンクロナイズド・ツイズルのみが認定され、難度のレベルとして考慮される。

レベルについての説明

レベルの対象となる全ての要素は、レベル 4 まで特徴が数えられる。

全てのプログラム・コンポーネントは以下の係数で採点される。

スケーティング・スキル	1.10
トランジション／繋ぎのフットワーク／動作	0.90
パフォーマンス／エクセキューション	0.90
構成／振付	0.90
インタープリテーション／タイミング	0.90

E. シンクロナイズド・スケーティング

1. ベーシック・ノービス競技会における技術的な要求事項

1.1 チーム構成

ベーシック・ノービス A

ベーシック・ノービス A は 12 名のスケーターと最大 4 名の交代要員で構成される。国内レベルでは、メンバーは異なるチーム構成を許可できる。

ベーシック・ノービス B

ベーシック・ノービス B は 16 名のスケーターと最大 4 名の交代要員で構成される。国内レベルでは、メンバーは異なるチーム構成を許可できる。

1.2 フリー・スケーティング

ベーシック・ノービス A, B の競技会はフリー・スケーティングのみで構成される。

バランスのとれたフリー・スケーティング・プログラムは以下の 6 つの必須要素を含まなくてはならない。

- a) 1 つのブロック
- b) 1 つのサークル
- c) 1 つのインターセクション
- d) 1 つのライン
- e) 1 つのムーブメント・イン・アイソレーション
- f) 1 つのホイール

最大の要素レベルを行うことができるが、与えられるレベルは、ISU が定める最大レベルより 1 つ低いレベルとなる。

他の要素もフリー・スケーティング・プログラムにつなぎの要素として組み入れることができ、ジャッジはインタープリテーションの評価に反映させることができる。コンテンツ・シート（予定要素表）では、どの余分な要素がつなぎの要素であるかを示す必要がある。

— 推奨される要素および特徴の定義／基準は規程第 903 条および第 911 条に従う。

— 要素の難度グループ、特徴および要求事項の説明は、有効な（対応する）ISU コミュニケーションに従う。

a) ホールド

最小 3 つの異なるとみなされるホールドが要求される。プログラムにおいて要求された数のホールドが無い場合にはレフェリーによって減点される。

b) 演技時間

演技時間は 3 分 ± 10 秒である。

計時はチームがスケーティング動作（グライド）を開始した時から完全にプログラムの終わりに静止する時までを計測する。

c) 音楽

歌詞を伴うボーカル音楽は許可される。

d) プログラム・コンポーネンツ

プログラム・コンポーネンツは

- ・ スケーティング・スキル
- ・ パフォーマンス/エクセキューション
- ・ インタープリテーション

でのみ採点される。

プログラム・コンポーネンツの係数は 1.7 である。

e) 違反要素

違反要素はジュニア・フリー・スケーティングの制限に従う（規程第 912 条第 9 項 b 参照）（加えて、ノービスにおいてボールツは不正要素である）

2. アドバンスト・ノービス競技会における技術的な要求事項

2.1 チーム構成

アドバンスト・ノービスは 16 名のスケーターと最大 4 名の交代要員で構成される。

2.2 フリー・スケーティング

アドバンスト・ノービスの競技会はフリー・スケーティングのみで構成される。

バランスのとれたフリー・スケーティング・プログラムは以下の 7 つの必須要素を含まなくてはならない。

- a) ブロック 1 つ
- b) サークル 1 つ
- c) インターセクション 1 つ
- d) ライン 1 つ
- e) ムーブメント・イン・アイソレーション 1 つ
- f) ホイール 1 つ
- g) ステップ・シーケンス 1 つ（サークル、ブロック・フォーメーションのどちらか）

最大限の要素のレベルは行うことができるが、与えられるレベルは、ISU が定める最大レベルより 1 つ低いレベルとなる。

他の要素もフリー・スケーティング・プログラムに組み入れることができ、コンポーネンツのトランジションおよび/または振り付けで採点される。プログラムのコンテンツ・シート（予定要素表）では、どの余分な要素がつなぎの要素であるかを示す必要がある。

— 推奨される要素および特徴の定義/基準は規程第 903 条および第 911 条に従う。

— 要素の難度グループ、特徴および要求事項の説明は、有効な（対応する）ISU コミュニケーションに従う。

a) ホールド

最小3つの異なるとみなされるホールドが要求される。もし、プログラムにおいて要求された数のホールドが無ければレフェリーによって減点される。

b) 演技時間

演技時間は3分30秒±10秒である。

計時はチームがスケーティング動作（グライド）を開始した時から完全にプログラムの終わりに静止する時までを計測する。

c) 音楽

歌詞付きのボーカル音楽は許可される。

d) プログラム・コンポーネンツ

プログラム・コンポーネンツは

- ・ スケーティング・スキル
- ・ パフォーマンス/エクセキューション
- ・ トランジション
- ・ インタープリテーション
- ・ 振付/構成

で採点される。

プログラム・コンポーネンツの係数は1.0である。

e) 違反要素

違反要素はジュニア・フリー・スケーティングの制限に従う（規程第912条第9項b参照）
（加えて、ノービスにおいてボールツは不正要素である）

ミラノ

2010年10月7日

ローザンヌ

会長 Ottavio Cinquanta

専務理事 Fredi Schmid

日本語訳： 2011年5月23日 第1版